8月4日 木曜日 3日発行 昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋56局8646 直通 販売〃0437 広告〃3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話 代表 芝(43)1163 振替 貯金口座 東京170071

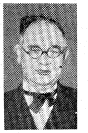
第3177号（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認第232号）（中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・内政内部新聞報館內台誌字第0136号）

あすの暦 8月4日・木 旧6月17日 月齢15.6 日出 前4.50 日入 後6.44 月出 後6.45 月入 前5.01 満潮 前5.05 後6.30 干潮 前11.55 後— （大潮）

天気予報 今晩 南のち北の風晴時々曇一時俄雨か雷雨。明日 北のち南の風晴時々曇夕刻から俄雨か雷雨。

重光外相の渡米

月末か来月早々 国務省、正式に招請


重光外相

【ワシントン二日発ロイター=共同】重光外相は去る四月、渡米しようとして米国側の都合により一時取止め、その後両国間で渡米の日取りなどにつき打合せ中だったが、権威筋が二日語ったところによると、米政府はこのほど重光外相に対し、月末ないし九月初めごろワシントンを訪問するよう招請したといわれる。日本側は重光外相が九月十日から十五日の間に渡米するよう提案していたが、米政府としてはこの時期はダレス国務長官の多忙が予想されるところから都合が悪いとしているようである。

同筋は重光外相が九月初めの数日間内に訪米できない場合、ダレス長官とは十月のジュネーヴ四国外相会議後でなければ会えないのではないかとみている。

米国務省当局は重光外相を迎える態度は変らないことを強調、問題は重光外相とダレス長官との会談の日取りを取決める点だけだとして、重光外相が十月の四国外相会議が終るのを待たず可及的速やかに訪米することを望んでいる。なお重光・ダレス会談では国際情勢に関する一般的な意見交換のほか次の諸問題が話合われるものと予想される。

一、日米両国の外交関係に関連した経済的諸問題。
一、現在ロンドンで進行中の日ソ国交回復交渉。
一、日本政府の防衛計画および防衛分担金の問題。

島公使の帰国待ち日程決定

重光外相の米国訪問について米政府はこのほど重光外相に対し招請状を発したと外電は報じているが外務省当局によると三日午前中にはこの招請状はまだ外務省に届いていない。

重光外相は九月十日から十五日までの間に出発する予定で米政府側と非公式に連絡をとる一方、島駐米公使に帰国を命じて渡米の打合せを行う手はずを決めていた。外相としては今度の渡米に当っては防衛折衝に最も重点をおいておりこのため防衛計画を作成する必要があり、時間的に余裕をとって九月中旬ごろ渡米の予定を立てていたものである。従って外相としては八月末か九月初旬を希望するという米政府の意向が正式に明らかにされれば、これに従って防衛計画の作成を急ぐとともに、八日帰国する島公使と打合せて最終的に渡米の日程を決めることになろう。

日ソ交渉 再び長期休会か

【ロンドン二日発=共同】日ソ交渉のマリク・ソ連全権は軍縮問題の専門家として、また国連常任代表として来る二十九日からニューヨークで開かれる国連軍縮小委員会に出席するのではないかとみられているが、松本全権は二日これについて「公式には何にも聞いていない、しかしマリク氏は国連の正式の代表であるので一応ニューヨークに行くとみるべきだろう」と語った。このため日ソ交渉はあるいはかなり長期間休会を余儀なくされるかも知れないとみられている。

日ソ交渉の現在までの動きをみると、日本側もソ連側も交渉を特に急いでいる模様はなく、またこれまでの交渉で双方の主張も一応出尽した形となっているので、あるいはマリク全権のニューヨーク行きを機会に松本全権も帰国するのではないかと一部で観測されている。ただし松本全権はこの問題について一切言明をさけており、帰国の気配も見せていない。

戦犯釈放は調印後 領土、漁業など難問題と取組む

【ロンドン二日発ロイター=共同】（ブリドル記者）日本人筋によればマリク全権は松本全権にたいしすでに刑期を満了した日本人十六名の送還については、現在ソ連赤十字社が日本赤十字社とその送還方法について連絡をとっていると語った。しかしその他の抑留日本人を日ソ平和条約締結前に送還に同意するか否かは確言しなかった。

第九回会談

【ロンドン二日発=共同】ロンドンの日ソ交渉第九回会談は二日午後三時（日本時間同日午後十一時）から二時間二十二分にわたりソ連大使館で行われたが、日本側が期待していた戦犯軍人千十六名および一般人抑留者二百五十七名の名簿はモスクワからロンドンに到着しだいマリク全権みずから松本全権に手渡すむねの再確約が行われた。戦犯関係問題でこの日明らかにされた諸点はつぎのとおり。

一、日本に送還される刑期満了の戦犯十六名については赤十字に至急通知すること。
二、その十六名は抑留者千二百七十三名の名簿の一部であること
三、ソ連は残留戦犯を平和条約締結とともに特赦のかたちで送還する意向であること。

その他この日の会談で意見の交換が行われた問題はつぎのとおり

▽領土問題 この日の会談で平和条約案の内容になる各事項全般にわたって個別的に意見の交換が行われた。
▽非武装地区の問題 ▽漁業通商問題 ▽国連加盟問題

第十回会談は九日日本大使公邸で行われるがその前に松本全権は四日午後一時大使公邸にソ連全権団を招き昼食会を開く予定

終戦十年 来し方行く末（下）

道義心に目覚めよ 敗戦忘れている日本人

下村海南

いかに敗戦後の予感がはずれてもこの惨敗した日本の再建は容易なことではない。何んといっても日本の国土は十分の四を失ったのである。さなきだに押すな押すなと人間ですしづめになっているところへ終戦となるとヤレ一と安心と新家庭が激増する。さらに外地出征の将兵は引揚げる、結婚する。ここに結婚ブーム、次でベビーブームとなった。そこへ血と汗で築き上げた土地、家屋をあとに内地へ引揚げを余儀なくされた在外同胞は、内地を引揚げた外人を差引いても五百万人を算し、終戦後五カ年間を通じ、北海道、東北六県の人口にあたる一千万を越える増加となった。

日本の人口は昭和四十五年に一億を超え、六十五年を頂上に漸減するが、一億を割るのは九十年ごろと推定されている。近時避妊なり人工中絶が盛んとなり、出生率は三分の二程度に減じてきたが、死亡率は二分の一に減じたため、今後十数年間の人口は年々百万人近い増加を見るであろう。何よりも生産年令人口（十五歳―五十九歳）は百十万前後もふえ、それへ女子老人の就業率が増して来つつある。昭和以後従来は毎年三十万人程度の新規就業者であったに比べて、これからはどうさばいてゆくのであろうか。現に二十九年度の完全失業者六十三万人、潜在一千万人。三十年度には人口は百三十万人、生産年令人口は百三十六万人、労働人口は八十四万人も増加すると推定されているのである。

国土は狭くなった、人口は増えるばかりである。昭和二十七年の食糧輸入四億一千万ドルは総輸入額の約五分の一を占めていたが、今後増加人口の食糧も輸入に待つとすれば、その食糧と衣服にあてる繊維原料を合せて毎年四千万ドルの増加を必要とし、十年にして四億ドルを追増せねばならぬこととなる。この生命をつなぐ絶対の輸入に見送る輸出にはどうした目算が立っているのか。

輸出さるべき製品の原料はほとんど外に仰がねばならぬ。戦前輸出入の原料なり製品の運賃は六百万トンの日本船によりかなりかせいだ。その船舶収入は昔日のおもかげなく、さらに国内における生産のコストは上る、人件費はセリあがる。そこへ戦前より増してきたのがストである。資本家と労務者が協力し生産の改良発達増進をはかる代りに、資本家から闘い取るのだとカミ合っている。

第一次大戦後いくばくもなく第二次大戦を巻き起したドイツを見て、今後日本が第三次大戦を起さぬよう徹底的に加えた日本への占領政策は、勝者として地を代えてみればうなずかれる。ソ連との冷戦を省みてコリャ薬がききすぎたと思っても、ヤルタ会談はじめ今日の見定めがつかなかった。いずれにしても今の日本は民主々義をはきちがえて、世界を忘れ、日本を忘れ、党も忘れ、郷土も忘れ、たずさわる官庁も会社も工場も忘れ、あまりにも自家頭上のハエを追うにこれ急なる感がある。


職業安定所に群がる失業者

戦前より発展したのが映画である、マージャンである、ダンスホールである、キャバレーである。新たに全世界に声名をあげて来たものは競輪である、パチンコである。競輪可なり、パチンコ可なりだが、全国津々浦々、昼日中から夜にかけて老若男女青年も壮者もあまりにも熱中しすぎている。

日本人は敗戦を忘れている。少し立直りかけたが、朝鮮の兵乱で特需景気となった。労使は協調を欠き特需の自然景気に浮かれてしまった。敗戦日本の政治は新憲法の下では国会にまつ他ない。しかも現時の政情を見れば安定を欠いている。見るに堪えない。党分立のため、この十年間に二十回の政変をくりかえしているフランスでは困る。英米のごとくありたい。社党二派の統一可なり。保守合同可なり。かくの如くにして政局の安定を先決すべきである。

今の日本は自我をすて道義心の振興に目覚めねばならぬ。無電や飛行機により世界は狭くなり、視野はますます広くなりしにかかわらず、人間の根性は狭く小さく低くなりつつある。これでは前途危しである。東の日本では赤となりつつある、西のドイツでは連合軍の占領地下に赤から黒になりつつある。彼も知らずおのれも知らず戦争に突進した日本もハッキリ眼をあかねばならぬ。（完）

粋人酔事



眞説『浦島太郎』

杉原務華

この間、信州へ行ったら思いがけなく、浦島太郎の眞説（?）というものを聞いて来た。伊那の小宮繁夫という人の説だそうで、聞いてみると、今までの浦島太郎物語よりも艶っぽいところもあり、そして人間的な匂いも高いので、かいつまんで、その話の受売りをして見よう。

子供たちにいじめられている亀を助けて、海へ逃がしてやったお礼に、亀の背中に乗せられて、海中の竜宮城へ出かけたというのが今までの「常識」なのだが、この話は発端から少しずつ違った方向へずれて行く。

或る日、相模の海岸で、浦島君が釣りをしていると、魚ではなくて亀がかかった。亀ではつまらないので、鉤から外して、ポンともとの海へ放してやったら、亀は「どうもすみません」とお礼を述べるかのように、浮きつ沈みつして、やがて夕闇の海深く姿を没した。それを見て浦島君も、いいことをしたわいとすがすがしい気持になって、帰途につくと、行く手に忽然として妙齢の美女が現われ、ニッコリとウィンクを送った。そのこぼれるばかりの愛嬌は、水も滴るようであったし、均整のとれた八頭身は水際立って美しかったというからには、まさしく竜宮の乙姫だったに違いない。

浦島君、ついフラフラッとその姫の後に従ってゆくと、やがて金屋玉楼の御殿に着いた。ここで初めて、これが常春の国の竜宮城であることが、浦島君にもわかった。これから少しの間は今までの物語り通りに運んで、大変なもてなしを受けているうちに、遂には乙姫さまとただならぬ仲となり、夢のような何年かを過ごしてしまった。

しかしホームシックにかかった浦島君は、或る夜乙姫との寝物語に、帰りたい別れたいという切れ話を持出したのだが、乙姫は泣いて泣いて聞き入れそうにもなかった。ところが都合のよいことには、はからずもここには乙姫の父なる王様がいて、これが至っての粋人であったらしく「それほど愛し合っているなら、二人で帰ることにしたらいいではないか」といってくれたので、二人はキンキジャクヤク天にも昇る心持で宮殿を出た。

「今度は新しい道を通って帰りましょう」と乙姫がまた先に立って浦島はそれに続いた。幾日か経って、着いたところは、浦島の故郷とは似ても似つかぬ所だったという。

しかし花は笑い、鳥は歌い、いつも霞のたなびくような新天地で、ここでも何年か判然としない陶酔の世を送った。

鯛の刺身でも、毎日毎晩ではあきがくる。絶世の美女を日夜抱きしめていた浦島も、男心と何んとやらで、さすがにげっぷが出るようになると、又ぞろ頭をもたげた望郷の念と共に、乙姫を粗末に扱い出し、ひどく当り散らす日が多くなった。乙姫は心変りのした浦島を恨んで、父王の許に帰るといい出し始めた。たった一人ぼっちになるのではおさらばにやり切れないと、浦島君は、やけのやん八も手伝って竜宮への帰りみちに通じる大穴を石で塞いでしまった。憤然とした乙姫は「人権じゅうりんも甚だしい。あなたも所詮はあさましい人間の一人です。正体は色魔です。妾は見損いました、そしてとり返しのつかない身体になってしまいました」と柳眉を逆立てながら、更に爆弾声明として「あなたがあたしの帰り道を塞いだ上は、妾も貴方の帰り道を塞いでからおいとまします」と、報復的処置をとると、一条の煙りと化して、その麗姿を消してしまった。神通力のない浦島は狂わんばかりに驚いて、乙姫の名を呼び続けたがこだまするのは自分の声ばかりであった。

乙姫在りし日の睦ごとや、その容姿を幻に画きながら、ふと側を見ると、乙姫が始終手離さず持っていた手文庫を忘れていったのに気がついた。早速その文庫を手にしてみると玉手箱と書いてあった。無意識のうちに箱の蓋を開けてみると、白い煙りが身辺をポッと包んだ。すると一瞬にして、紅顔の美青年浦島は、忽ちにして六百歳の老翁に変り果ててしまった。

六百歳とはどこから割り出したのか私にも判らないのだが、嘘にしては二百歳がとこ足りないから、何か根拠があるのかもしれない。

〽みんな遠い昔になって
膝に冷たい玉手箱
〽乙姫は岡田茉莉子にそっくりでした
浦島太郎の感痴話

浦島が乙姫に連れ出されて、愛欲の生活を営んだところは、今の「寝ざめの床」だということだ。「寝ざめの床」には、今でも浦島太郎が使ったという釣竿と浦島そばというのが残っている。

農相渡米 "ハク付け"が底意? 虎視タンタン 留守を狙う"反河野組"



◇…河野農相は八日、欧州ならびに米国に向け出発する。この訪欧米の目的は英国では松本対ソ全権との連絡、米国では余剰農産物の交渉だといわれている。この農相外遊について某閣僚にいわせると「河野のヤツ、なにをしでかすか心配だ」と警戒する気配をみせており、外務省筋でも、鳩山首相から直接の指令を持って勝手に交渉を進められてはたまらないという気持もあるようだ。

◇…河野農相が最初外遊問題を鳩山首相に持出したとき、首相はあまりいい顔をしなかったといわれている。三木武吉氏とならんで首相の片腕といわれている農相を一時でも手離すことは、保守結集問題が着々と前進しようとしているときに心細いという気持が手伝ったのかも知れない。ところが農相が日ソ交渉で英国で働いている松本全権に首相の真意を伝えるという条件を持出したら首相はたちまちコロリと参ってOKを与えたという。この英国行きには首相の訓令を持って行くより、かつて農相が社長をしていた日魯漁業のサケマスかん詰の販路拡張に行くのが真の目的だといわれている。だから農相として外遊するのではなく漁業会社のセールスマンだとコキ下す向きもないではない。こういうところに重光外相があの仏頂面をさらにこわばらして警戒するのも無理はない。

◇…一方米国行きについては農相のいう「余剰農産物の交渉」にケチをつけている閣僚がいる。元来、余剰農産物の交渉は高碕企画庁長官が主として当っている。だから米国相手の交渉は「オレがやるんだ」と力みかえっているが、相手が強引な河野農相だけにカゲでぶつぶついっているだけ。また「輸入は一切オレの所管だ」と文句をつけているのが石橋通産相。ところが農相の真意は余剰農産物の交渉などはほんの片手間、そのネライは日ソ交渉開始にともなう米国の悪感情緩和につとめることと、そのさい現在日米間に横たわる諸問題を一挙に解決しようとしているのだといわれ、米国から少しでも"お土産"をもらってくれば、外遊の目的は達成できると思っているようだ。

◇…一方党内には河野農相の外遊中の留守を虎視たんたんとねらっている一派がいる。この連中は前国会中に保守結集とか、国会の運営で三木、河野に引きずり回されたうらみと、三木、河野が党内の主導権をとっているかぎり保守結集はまとまらないと信じているからだ。このため、うるさい農相が国を留守にしている間に民自組織委員会などを通じてなんとか主導権を取戻そうと懸命になっている。はたして外遊中に河野排撃が成るかどうか。また農相がこの外遊によって"お土産"を持ち帰り、前国会中"実質上の副総理"といわれていたその上に、さらにハクをつけ得るか。帰国後党内に微妙な動きを示すのではなかろうか。（S）

【似顔は河野農相】

仏首脳、訪ソ招請受諾か

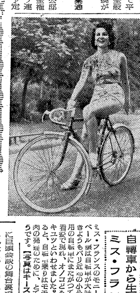
【パリ三日発=共同】ソ連政府はこのほどパリ駐在のヴィノグラードフ大使を通じて、仏のフォール首相およびピネ外相にモスクワを訪問するよう正式に招請状を送った。フランス側はこの招請を承諾した模様である。

フォール首相とピネ外相の訪ソ問題は去る六月中旬、ソ連のモロトフ外相がジュネーヴの四国外相会議出席の途中パリに立寄った時に下交渉が行われ、さらに巨頭会談の舞台裏で話が続けられたものと見られる。

アデナウアー西独首相のソ連訪問をひかえて今回また仏政府首脳者がソ連に招待されたことは、ソ連のいわゆる"招待外交"の一環をなすものとみられるが、十月のジュネーヴ四国外相会議を控えて西独とソ連との交渉が注目をあびている折から、今回の仏首脳訪ソは米英としても重視せざるを得ないであろう。仏首・外相の訪ソ時期はまだ決っていないが、外相会議以前になるか以後になるかが問題で、一般には米国を刺激しないため外相会議以後になるのではないかとみられる。

の始まりを示すものかも知れない。

自転車から生れたミス・フランス



ミス・フランスのモニーク・ランベール嬢は自転車が大好きです。きょうもパリ近郊の小公園で競走用の自転車にまたがってハデな水着姿で現れ、オノコどもの心臓をキュッといわせました。彼女によると、自転車乗りはモモと腰の筋肉の発達のために、とてもいいそうです。【写真はキーストン特約】

"道州制"検討 地方制度調査会総会

地方制度調査会（第三次）第一回総会は三日午前十一時から首相官邸で開かれた。まず会長に前田多門、副会長野村香雄両氏を互選したのち、川島自治庁長官から第二次調査会に引続き道府県制度（道州制度）問題など地方制度の根本的対策につき審議されたいと挨拶を行った。ついで調査会の今後の運営を協議するため前例に従って運営委員会を設けることを決め、同五十分散会した。

◇お断り 本日「財界春秋」休載

ユーゴ議員団ソ連着

【モスクワ二日発ロイター=共同】ソ連のタス通信によれば、ユーゴ人民議会代表団は二日モスクワに到着した。

武力行使の放棄 ダレス長官 中共当局に要望

【ワシントン二日発UP=共同】ダレス米国務長官は二日の定例記者会見で次のように語った。

一、中共はアジアにおける野心をみたす手段としての力の使用を放棄すると宣言すべきである。
一、周恩来中共首相は最近の演説で国家間の意見の相違は力によって解決すべきではないという米国の考えを是認したが、私はこれを喜ばしく思っている。
一、米国は力を用いないという共産側の約束とひきかえに東南アジア集団防衛条約機構（SEATO）を放棄する考えはない。
一、米飛行士の釈放やその他の中共の政策の発展は、中共と他の諸国との関係の上で新たな局面

市況 地合は堅調

積極買は引続き見送られているが大証券の優良株買が緩慢ながら継続しているので地合は堅調際を失わず市場はいぜん小高い場面。特定株は買物一巡から商いは低調化しほとんど一、二円幅の小高下を繰返し、雑株は砂糖、電力株の一部に根強い買気が続いてジリ高歩調をたどっている。ほか日鉄鉱、日銀、カルピスなど品薄株の一部が物色されて十円内外から四十円がらみ上進、その他は保合圏内の動きながら概して小確りを保っている。

▽高い株=日銀四十五円、カルピス十五円、九州電十円、日鉄鉱九円、ガス化学七円、東北電五円、日糖、吉原油、浜糖、発動機四円
▽安い株=大阪糖六円

東京株式仲値 □新株落△配当落（3日前場終値）

特定銘柄							
東海上	266	信越化	82	倉レ	100	小西六	120
郵船	61	東高圧	132	旭化成	355	カボン	42
新三菱	84	昭電工	90	山陽パ	109	三井物	140
日清紡	266	日本曹	84	日本パ	105	第一物	103
味の素	278	旭電化	71	国策パ	114	白木屋	210
三越	268	三菱造	88	東北パ	128	高島屋	85
三菱地	493	三井造	118	大東紡	101	日活	68
平和不	186	三菱重	63	商船	47	松竹	201
三井金	113	石川重	91	三井船	51	東宝	1300
三菱金	93	精工	121	飯野海	48	大映	173
日鉱	88	東洋ベ	108	西武	—	日本粉	133
住友金	98	日立造	50	藤田興	215	日清粉	164
三菱鉱	44	浦賀	50	東京ガ	70	日本ビ	166
古河鉱	62	日平	20	東電	506	朝日ビ	183
同和鉱	121	古河電	70	日銀	1900	キリン	201
住友炭	51	日立製	75	東銀	59	宝酒造	99
三井山	56	東芝	74	三井銀	—	台糖	263
北海炭	52	三菱電	86	富士銀	88	明糖	134
東邦亜	69	小松	51	日証金	93	森永菓	139
帝石	77	日本光	137	安田火	115	野田醤	191
日石	105	キヤノ	145	大正海	98	森永	282
昭和石	106	東京光	—	住友海	88	明菓	183
東燃	121	東洋紡	144	千代田	—	日水産	86
三菱石	127	鐘紡	122	鋼管	75	昭和産	102
大協石	122	富士紡	114	日製鋼	68	東洋罐	72
日東化	82	大日紡	64	八幡鉄	57	合同酒	119
日産化	78	日東紡	57	富士鉄	53	三楽	97
三菱化	97	片倉	35	神戸鋼	56	大阪窯	164
三井化	114	東邦レ	104	日特鋼	115	王子紙	220
協和醱	112	帝麻	50	日軽金	190	十条紙	234
東合成	123	中繊	51	日金工	60	本州紙	91
三共薬	148	帝人	134	日セメ	141	三菱紙	90
		東洋レ	178	秩父セ	240	北越紙	62
		三菱レ	130	小野田	82	三井不	795
				横浜ゴ	166	三井倉	75
				旭硝子	150	渋沢倉	74
				富士写	136	東洋埠	—

内外抄

◇ 引続き政権担当の意を示した首相、九月末まで軽井沢に静養。執心と熱心とは別ということ。
◇ 首相の慎重論で保守合同相場が暴落、先物買の連中あわてて売りに回る。当分はぼけ相場。
◇ 防衛閣僚懇談会を設ける。ソ連流かファッショ張りに「防衛閣僚会議」と元気よく行きたかろう。
◇ 砂糖の儲けを業者から寄付させると。もしもし政府がそんな御手本を示していいでしょうか。
◇ 続く火薬の爆発惨事と取締当局の追いかけ訓示。いつでもあとの祭りばかりをにぎやかに。

ないがい川柳 吉田朴司選

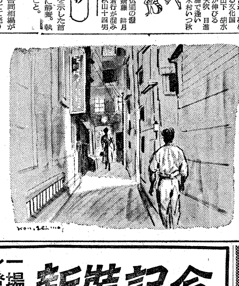


出世した動機を女優疑ぐられ 品川 蝸牛
居眠りが滞在手当の夢を見る 横浜 渡辺 夢生
照れば泣き降れば流てる文化国 目黒 山下 胡水
テレビ場力道が出て背が伸びる 足立 矢吹 日進
同んなじの柄の水着が海で逢い 文京 木村 いつ秋
成人を待ってるように仏間の燈 新宿 斎藤 耕月
【賞】海水着見せに鎌倉行が混み 市川 秋山十四男

青春無宿（86）

大林 清 作　下高原健二 画

仲たがい（四）



あてもなく あるきだした光代は、途中から次郎をたずねてみる気になった。

銀座表通りを松坂屋側へ越えて照江に教わったとおり、二つ目の筋をまがってみた。

十一時半をとうに過ぎたので、そこらに多い小料理屋なども、大方は店をしまっていた。どこを見まわしても、アパートらしい建物が眼にはいらない。谷間のような場所と云っていたところから推して、通りには面していないだろうとだけはわかっていた。

ちょうど店をしめかけている夕バコ屋があった。ウィンドウの戸を入れている店の者に、銀六アパートと云ってたずねると、

「ああそのアパートなら、そこの万宗さんの横をまがった突きあたりですよ」

と、気さくに教えてくれた。

その路地は、暗くて足もともあぶないくらいだった。あけはなしになっているアパートの玄関をはいって、最初に下駄箱の名札を見ていった。

おかしなことに、宇田の名はその中にないのだ。

とっつきは管理人室らしいが、そこの電燈も消えている。眞弓の部屋番号だけはわかったものの、これはまだ帰っている筈がなかった。

ぐずぐずしていたら、池袋へ帰る電車がなく なってしまう だろう。折角ここまで来ていながら、光代は宇田に会うのを断念するより仕方がなかった。

急に重くなった足をひきずるようにして、玄関から出た時、その路地をむこうから近づいて来る人影が見えた。

もしや眞弓ではと、光代は足をとめて、瞳をこらした。

人影の方もちょっと立ちどまって、こっちを見すかすようにしてから、今度は大股に近づいて来た。アパートの軒燈の明るみの中へうかびあがったその姿を見た瞬間光代は思わず 小さく声を 漏らした。

宇田次郎だった。信じられないように眼をみひらきながら、

「どうしたんですか」

と、声をかけた。

「お宅へうかがったんですけどお部屋がわからなくて…」

そういいながらも、光代は次郎の姿を見まわした。どこも異状のない様子に、ホッと安堵の息をもらしたくなった。

「何か僕に御用でもあったんですか」

次郎の怪訝そうな表情はまだとけない。

「あたしだま されたんで しょうか。昨日、日比谷公園で何かあったんじゃないんですの？」

「ああ、あれですか、誰にきいたんです」

次郎はてれたように微笑した。

「ええ、ちょっと…」

赤目の西たちに、つかまったことを話したら、次郎を不必要に刺激するのではないかと思い、光代はわざと言葉を濁した。

「なァに、たいしたことじゃないんです。それであなた、わざわざここへ来て下さったんですか」

「どうなすったのか様子がわからなかったもんですから」

光代は次郎と話していると、信頼出来る兄とでも会っているような気がして来るのだった。

十三夜、月の浜辺で こっちが"釣られた"
ドンファン照れる松林の怪



◇由比ヶ浜、材木座付近の家には、表札の横に××会社海の家という社員のための海水浴休憩所が並んでいる。[illegible]としゃれる。ザザーッ、ザザーッと、周期的に砂浜に寄せて来る白い波は、海に輝く星とともに、若い血潮をオセンチにするのだろう。星の光をさけて、由比ヶ浜の並木にかくれる二人連れがあっちに、こっちに…。そんな中に、きっと一人や二人(いやもっと多かったが)もの思いにふけって、砂に吸い込まれる水をぼんやり見つめている令女はいるものだ。

◇二十二、三、浴衣がけの、スラリとした美人が、陸に上げられたボートのへりに腰かけて、いま流行りのセレソ・ローサを口ずさんでいる。

「いい夜ですね…」

ニワカ・ドンファンは、ガタ〜ふるえる足を押えながら、そっと声をかけてみた。昔の女性だったら、口も利かずに逃げ出したろう。時の流れが■

「本当に…星が綺麗だワ…」

と、全く見ず知らずの記者にこう答えた。

「恋を囁きたくなる晩ね…」ドギマギしたのはこっちである。答える言葉を失って

「モグ〜」

「ちょうどお話相手がほしかったの。散歩しませんか?」

「悪くないですナ」と、肩を並べて歩き出す。下駄が砂地にめり込んで、思うように歩けない。海岸線に建つ家々の光が点々と続く。歩きながら、彼女が一人で東京から鎌倉の親戚へ避暑に来たこと、名前は小林ハル子さんであること、勤めは神田の繊維問屋であることなどが判った。多くの独身女性が初恋の想い出の人が、妻を持ち、子供を持った社会的にも、ある安定した、人間的にも丸味のある人にひかれるように、彼女のいま胸をいた[illegible]れ途切れにしかきこえない。

「明日は大森へいこうよ」

「大森へ行ったらまた帰れないワうちで心配するから、来週にしましょうよ、ネ、ネエ…」

どんな意味なのか、よく判断はつかないが、かなり悩ましい、夏の夜話であることには違いないようだ。

かと思うと

「この間一緒に歩いていた男は誰だ?」「そんなこと、あんたのしったことじゃないじゃないの、あんたが嫌いだったら、こんなところへ、わざ〜泊りがけで来ないワよ…」「だけど…」「信用してくれないの?…」なんて痴話喧嘩も、耳に入る。

◇夜のニワカ・ドンファンは記者だけではなかったと見え、「今朝の電車の中に、そりゃアたくさん女性は乗ってたけどよ、君が一番美人だったナ。俺、ポッとしちゃった。不良と思われるけどさ、ちょうどまた海岸で会ったから、声をかけたんだ」と、浴衣よりマンボスタイルの合いそうな青年の声もあった。松の根を枕に、抱擁する者、唇を合わせて、肩を波打たせる者など、一時風紀が乱れて、NHKの社会探訪にまで放送された夜の由比ヶ浜の松林は、さながら"恋"そして"肉欲"の林の感を呈していた。

―さて、彼女は―。余りの強い刺激がそうさせたのかいままでは離れ〜に歩いていた記者の左腕に彼女の細い腕がまきついて「少し休みませんか?」と、自分から先に足を投げ出した。海の風に松の木がゆら〜とゆれている。彼女と知り合って二時間、時計はもう九時を回っているのに、こんなに早く、独身の女性と松林の中で語り合えるほど、世の中はスピード化しているのだろう。

◇「今度一緒に映画でも見に行きませんか?」と、その夜は約束して別れたが…。旅館へ帰ってカメラマンのF君、「おい〜、帰りが遅い〜と思ったら、頬っぺたに赤いルージュなんかつけて…顔を洗って来いよ…。それから数日して、その問屋に勤めているという彼女が、夜の新橋で客を引いているのにぶつかった。彼女は鎌倉へ出かせぎに行ったパンパンだったのである。鎌倉署の話では、この種の避暑パンが、日に十数人は松林に現われるそうナ。第一話は殿方よご用心あれという話である。

海の銀座で女釣り
実験報告



すごい人出・日曜日の片瀬海岸



あちらでもこちらでも「由比ヶ浜の松林」

海水着一枚の海浜はドンファンの活躍舞台でもある。十数年ぶりの異常高温に、海水浴場はどこもかしこも超満員で、まるでイモを洗うような混雑ぶり。そんなところに色魔の目が光る。―色魔といえば、こんなコントがあった。

「海浜で女性と間違いなく接近出来る方法は?―」

「至極簡単。その狙った女性の前を、心配気な面持で二、三回往来、沈み切った声で、"この辺で三つくらいの子供を見ませんでしたでしょうか。実は子供が迷子になってしまったのですが…」

と尋ねる。女性は生れつきから母性愛を持っているものだ。子供のこととなると、他人の子のことでも真剣になって心配してくれる。ここがつめ目。

「見ませんでしたか? トニー谷の伜と違って、貧乏人の子だから誘拐されることはないと思うんですが…どうも失礼しました」

と走り去る。

―それから何分かたって、再び彼女の前に現われる。その時は、足取りもかるく、口笛など吹きながら…。きっと彼女は

「お子さま、いらっしゃいまして?」と尋ねてくる。

「ご心配かけてすみません。僕の子じゃなく、兄貴の子なんですがね…おりましたよ」

てな具合で、接近しちゃうのである。口を利くようになればお互いに裸「泳ぎましょうか」「ええ」なんてことから「泳げないんですか? 教えてあげましょう」「あら」とかなんとかいうことになり「一緒に東京へ帰りましょうよ」といううまい話になりかねないのである。

そこで「海へ行こう、女を釣りに」「女釣るにはお金はいらぬ。海水着さえあればよい」なんて言葉も出てくるのである。

―海水着一つだから、どうしても開放的になる。だから隙も生れて来るわけだが、記者はN署のM刑事とコンビで、三十一日の日曜日、海の銀座鎌倉を舞台に"一日ドンファン"に化け、秘術をつくして、女性に接近を試みてみた。悪趣味というなかれ。これは女性の弱点がナヘンにあるかを身をもって実験、診断し、そのカルテを公開して、若い女性たちが、今後かゝる「海浜病」にかからぬための予防法を提供しようとするロー婆心なのである。さて成果は?…ともかく、女性は隙だらけ。これが記者の結論である。もっともミイラトリがミイラになるの逆現象もないわけじゃなかったが…以下体験記…。【T】

1日ドンファン記者

敵さんも"鴨待ち"
忽ち意気投合 八潮悠子とヨット乗り

◇M刑事と記者は前夜泊った鶴ヶ岡八幡宮横のS旅館を七時に出発、海岸へ向う。気の弱いM刑事「きょうは君の友人であって、君の監視役、日頃の職業意識は君が脱線しそうになったら働かせるがそれ以外は休暇で出て来た単なる海水浴客の一人だからね」と慎重、刑事がドンファンなどになったらそれこそ大変。だから無理もない。

まず材木座へいこうと、トボ〜二人は肩を並べて歩き出す。まだ七時だというのに、余程早く起きて来た連中だろう、続々と由比ヶ浜へ、材木座へと歩いていく。

◇材木座へ着いたのが七時半。もう海の家はどこも店を開いていて「手前へどうぞ」「こちらへどうぞ」と客を引いている。午前中それも九時過ぎればもうソッポも向かない海の家の人たちは、早くから客を獲得しておこうと、その客引きは大へんなもの。自動車で遠路乗りつけた連中のために有料駐車場を作り、それでせっせと稼いでいる頭のいいのもいる。海はもう三分の入り。

―どんな女を狙ってやるかな―とあっちをキョロ〜、こっちをキョロキョロ。いた、それもわれ〜の目の前に東京から着いたばかりと見られる三人連れの若い女性。東京から海水着を着て来たものと見え、われ〜の目の前でパッ、パッとスカートをブラウスを、シュミーズをぬいでいく―。夏の陽光はまぶしくて、ちょいと上を向いただけで目玉がとけそうだが、目の前で、いくら下に下着を着ているからといって、パッパッ〜と勇敢にやられると。いくら心臓に毛が生えていても、知らず知らずに目は横を向いてしまう。

―このくらい勇敢な女なら、まず大丈夫だろう―一度狙って釣り変したとなったら、これこそ恥かしいもの。断じて…とジャボ〜と水に入っていく彼女たちの後を追う。

◇三人のうち、一人は泳げるが二人は金槌であることが判った。せいてはことを仕損ずる。あわてずさわがず相手をよく観察することにつとめる。一人がミヤコちゃん、一人がエイ子ちゃん。一人がヨシちゃんという名前であることも三人の会話から知ることが出来た。M刑事は、こっちの苦労も知らないで、一人泳いでいる。三人が砂浜に上った。われわれも甲羅干しを始める。こんな時にカメラというやつは便利なものでM刑事記者とお互いに撮り合っていた。と彼女のうちのミヤコちゃんと呼ばれる一人が「撮して上げましょうか? あたしカメラうまいのよ」と近づいて来た。これでは逆だ。釣りに行って釣られたとあってはこれは仕事にならない。といって尻尾をまくわけにもいかないので一枚だけ撮ってもらって三人組にハイチャイ。

◇「アベコベだったナ?」とM刑事にひやかされながら、次の舞台をちょうど材木座と由比ヶ浜の中間にある米国大使館別荘前の砂浜に移す。九時だというのにもう海岸は六、七万人くらいの人である。



ドンファン「僕は砂の芸術家ですよ! これがその作品、いかがですあなたモデルになって下さい」

ビーチパラソルが、約二十米おきに立っている。次の獲物は、赤、黄、青の三色のビーチパラソルの下にいる。二人の女。何れも二十二、三歳。ちょいと美人のジャズ喫茶あたりでよく会いそうな令嬢。ビーチパラソルご持参とあるからには、どうせ鎌倉の住人。近づく機会を考える。

◇土地っ子には道を尋ねるのが一番近づき易いのだが、裸で道を尋ねるのも変だ。そこで頭をひねっていると、ひざを叩いたM刑事「悪いことを教えるようだが、あの女性に一番似ている女優の顔を思い出せ。そしてサインをお願いしますとやらかすんだ。ミーハーみたいでおかしいが"あの映画は名演技でしたね"と相手に一言も喋らせずにまくし立てるんだ。女優と間違えられれば女の子だってうれしいだろ、そこを狙うんだ」

◇Sそういえば二人のうちの一人は八潮悠子に似ている顔だ。八潮悠子といえば最近"母笛子笛"という映画に出ている。どんな役か知らないが。こうなったら口から出まかせ、ぶつかってみろと歩き出したが、足下がガタ〜ブルブル、ようやくビーチパラソルの下へ行って八潮さんですね? 鎌倉へ泳ぎにいらっしったんですか? 僕はあなたのファンですが、まさか水着の、それも本物にお目にかかれるとは…」と一気にしゃべりまくった。

「あら、あたしも八潮さんのファンですけど、八潮さんじゃありませんのよ、間違えられたりして、光栄ですワ、ウフフ!」索ずるより生むが易し―見ン事くい込みに成功した。一緒に泳ぎ、一緒にカメラを写し、そして、ヨットに乗り込ませるところまでこぎつけた。

◇鎌倉のヨットは一時間五百円也。―高けえなア―とは思ったがこれも仕事、幸いヨットの漕法は七ツ釦の予科練出身であるM刑事がお手のもの。二対二のカップルは鎌倉沖へと乗り出した。波打際の黄色く濁った水と違って、二千米も沖合へ出ると水も青く江ノ島、逗子、葉山も一眺で、こんな沖合へ出たことは初めてと見え、さっき海浜で会ったばかりなのに、彼女たちのはしゃぎようは大へんなもの。「素晴しいワ、楽しいワ」の連発。この調子ならまず大丈夫―と、風のまにまに四人は海を辷る。ヨットの中で、一人は鎌倉の大町に住むS子さん(二〇)もう一人は、同じ日本橋の会社に勤める原宿のY子さん(二二)で、二人ともタイピストであるといっていた。

◇「海へいくと、男のお友達が出来るでしょ、そうするとあたしたち、映画でも、コーヒーでも、ダンスでもタダで遊べるでしょ。だから海が好きよ」とS子さんは打明ける。「男の人だって海で女の人をひっかけて、楽しむんでしょ? あんたたちだってそうでしょ? 八潮悠子さんに似てるなんて、口から出まかせでしょ? あたし知ってるわ、そのくらい…」顔だけ見たのでは、現代の女性の心理は判らない。まさか「そうだ」ともいえず、「いや正直のところ間違えたのサ」と言葉をにごす。

◇とん〜拍子に話ははこび、四時過ぎに浜を上り、八時に鎌倉駅で落合う約束まで出来た。鎌倉に住むというS子さんも大船まで送るという。混んだ電車に四人は疲れた体を押し込んで、大船へ―S子さんは大船で降りようともせず「品川までお送りするワ、どうせあたし定期券なんですもの…それにこのお二人にY子さんをあずけたら心配でならないもの…」と、とにかく、こんなに信用のないドンファンは失格だと思いながらも四人が下りたところは新橋のホーム「ここまで来たら、暑気払いに生ビールでものむか―」M刑事がこうつぶやいた。大賛成! かくて四人はいささかごメイテイ気味で、フラリ〜と銀座通りへ出たら…

◇S子さんの「ね、これから一緒に飲み明かしましょうよ」にM刑事「そろそろ正体を明かせよ」―いや実は…と切り出すと、彼女たち「ツマンネーノ」最後までドンファン記者と行動を共にしたM刑事「今の女は、ほれっぽいけどあきらめも早いナ、だからお腹が大きくなっちゃうんだナ」

世界流行譚 ……(ドイツ)……

「ねエママ、どうして赤ちゃんが出来るの」この質問に世の母親達はどの位悩まされたでしょう。こうした質問をする女の子が、又大きくなってわが子に質問されるのです。実際に物心ついた子供を持つ母親や父親は、うっかりしたことも出来ません。キシらないベッド。物音や溜息を消す機械をどれ程待望していることでしょう。家を焼かれて狭いアパート生活のハンス夫妻も、隣りの部屋で眠っている子供達には十分気をつけておりましたが、妻のアンナは感情が頂点に達すると大声あげる癖があるのでホト〜困っておりました。昨夜も大声をあげ、今朝は晴れ〜とした顔で、勤めにゆくハンスや学校に行く子供達に朝食の支度をしている母に、九つになる女の子が「ママ昨夜どうしたの」と聞きました。困った母親が「お腹が痛かったのよ」といいますと「フーン、それでパパが看病してたのね、ねエパパ、今度あたしがお腹痛くなったらああいう風にしてね」

モダン歳々記
独軍の白国侵入

一九一四年八月四日、第一次大戦のドイツ軍は中立国ベルギーを侵略し、響霰の如く国境に流れこんだ。その結果ベルギー領内で幾多の残虐な暴行が行われたのである。当時の記録によると「ドイツ予備歩兵第四十八連隊はエレウェイトを占領し、同地の若い娘のほとんど全部、その両親などの面前にて姦せられた」「ベイゲムでクーメル中尉指揮下の兵は、妙齢の一婦人を拉し来り教会堂に赴き、僧侶とその妹の面前にて恐るべき状態の下に辱めた」「仏軍の到着した第一白耕村落の某所にては戦闘の第一日に於て五十人の婦人が裸体のまゝ長き壁に縛られて足の方から徐々に上に向って射撃され殺されているのが発見された」など幾多の記述がある。

アメリカの女医エリザベス・スライクの報告によると「フランス及びベルギー領土内のドイツ兵の侵略を受けた土地で、凌辱を受けない女性はきわめて稀である」とする。戦争はすべての人間を非文化国民にするらしい。カントの、ベートーヴェンの血につながる国民のこの非行を、我々も大いに反省しなければならない。(鮭)

東海毒婦伝
青とかげ (27)
野沢　純
土端一美　画

蟬しぐれ(五)

尾張屋は、暮六ツ刻の鐘を聞いてから大戸をおろす。

手代、丁稚、小僧たちが、お店の取り片づけや拭き掃除をしている間に、お帳場番頭の島蔵が、帳尻を調べ合せる。主人夫婦がいる時は、

―(仕舞いました)

の挨拶をし、それからはじめて夕飯の箱膳に向う。

武家の作法とはまた別に、商家には商家としての「じきたり」がある。

食事が済むと、めい〜が、てんでに自分の箱膳をしまって、町湯へ出かける。

縁台将棋を指す者もあり、からしのきいたところてんをすゝりに行く者もある。

店の掟で、灯りを消して、床につくのが五ツ半(夜の九時)朝は寅の下刻、七ツ半(五時)と、夏でも冬でもきまっている。

―その夜、手代の豊吉は、四ツ(十時)を廻ってもなか〜に、眠られなかった。

耳の奥で、じいん……と蟬が啼いてるような気がして、転々、枕を返すばかりである。

あたまの中には、今日昼間、油堀の本宅の湯殿の中でまざ〜と見せつけられたおりう様の裸すがたがチラついて、いつかな眠らせないのである。



(ほほほ……豊吉のお馬鹿さん、ふるえてるわ)

奔放な笑い声が、まだ耳底にこびりついていた。

なまなましい女体と共に、よみがえって来る。

広いお店の店先に、ずらりと並べて敷かれてある、二布半の、せまくて薄い布団の中で、豊吉は独り転々と、寝返りばかりを打っていた。妄想は追い払おうとしても執拗につきまとう。

(何と思って、あんな真似をしなすったんだろう?)

闇の中で豊吉は、じっと宙に目を据えた。

(旦那も御新造も、婆やもみんな留守を承知で、わざとからかいなすったのかも知れない)

そう思った。

長年、子飼いのお店の手代に、裸を見せて洗わせて、なぶろうとしたのだ。

夢の中にも、おりう様がいた。

一糸まとわぬ裸すがたを、からかうように見せつけていた。

いとも妖しい女体の夢だった。

豊吉とて、もはや十八の若者である。手いたずらも、いつしか覚えた。

暁け方の夢の中で、豊吉ははしたか濡れた。

はっ! と思わず目が醒めた。

寅の一点(午前四時)が、もう鳴って、朝蟬が早くも鳴きはじめていた。

今日も暑くなるらしい。

豊吉は、けだるい体で起き上ると、背戸の井戸端へ出て行って、ざあ〜と水をかぶった。

水を浴びても、おりう様の裸すがたは、頭の中から離れないのである。

そのくせ、このつぎ出逢っても、おりう様はケロリとして、豊吉など眼中にないように、わざと知らん顔をするであろう―と思うと、やるせなくも切ない気がする。

「いつまで顔を洗っているんだえ、さっさと表へ水を打たないか!」

番頭島蔵の、トゲ〜しい声がした。

豊吉は、あわてゝ濡れた体を拭いた。

朝戸出の、土用しじみを売りひさぐ声が、もう町なかに聞えて来ていた。

あすの運勢 ―八月四日― 高島象山

▲一月生―家庭円満にして事業明朗に進展栄達あり開業就職結婚吉
▲二月生―不用意より意外の災禍にあい易い外出を慎み保養を注意
▲三月生―物事思想浅薄に流れ失敗を招き易い酒色の道を注意せよ
▲四月生―何事も盛大に発展の義有積極的に活動せよ開業結婚大吉
▲五月生―物事姑息に流れ或は策略に失して自ら失敗を招き易い注意
▲六月生―物事に気迷い起り邪正善悪の見分けもつかず失敗招く
▲七月生―何事も光明に接するが如く漸次栄達あり開業就職結婚吉
▲八月生―多の障害が起り辛苦災厄を招来し易い婦人は病難起る
▲九月生―何事も意の如くならず失態あり剛情より信を失うなり注意せよ
▲十月生―経済運旺盛にして自信ある事に向えば利達栄進する移転よし
▲十一月生―浅薄なる思想は災禍を家る身内親類に病気不幸心配有
▲十二月生―家業は無事なるも身内親類に心配あり家庭に不和注意

ラジオとテレビ
3日(水)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷八月ラジオ子供のうた 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇きょうの市況 30 受信機講座 富村正春 40 科学小説「海底一万浬」	10 東西こぼれ話 高野アナ 15 スイート・コンサート 25 ファイヴゲーム(小野田)	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 ポツポちゃん物語 15 少年探偵団 真杉和夫他 30 歌謡百貨店
7	15 録音ニュース 30 即興劇場 舞台監督・藤倉修一 加藤玉枝 中村紀子子 大塚博 川久保潔	00 名曲鑑賞 グリーグ・ピアノ曲集 ルビンシテイン 30 科学の散歩「浅間の煙」東大教授 水上武	10 録音ニュース 20 ホームソング 長門美保 30 劇「織田信長」中村錦之助 水城蘭子 前沢迪雄他	00 録音ニュース 10 歌の星座 ペギー葉山他 30 落語❶くやみの言葉 梅橋❷八百屋お七 痴楽	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) 20 花のステージ 野村雪夫 30 ものまねノド自慢 柳家金語楼 高田浩吉ほか
8	00 ❶落語「おばあさん」今輔❷歌謡漫談 シャンバロー❸落語「近日息子」三木助❹落語「釣自慢」	05 経済法案の国会審議を顧りみて 斎藤栄三郎ほか 30 出来秋を前にして・米の予約買付を現地にみる	00 劇「珠はくだけず」北村和夫 前田敏子 仲谷昇他 30 今宵たのしく 越路吹雪 芥川比呂志 岸田今日子他	00 歌のチャンピオン 関光夫 林伊佐緒ほか 30 劇「娘ひとり」乙羽信子 日高澄子 高杉早苗ほか	00 私の選曲 芥川比呂志 20 お笑い家庭相談所 40 劇「浪花一代男」扇雀 鴈次郎 吉三郎ほか
9	05 ニュース解説 熊谷幸博 15 シンフオニーホール 交響曲第2番ニ長調 ブラームス作曲 N響	00 舞台中継(東横ホール)「夜の来訪者」永田靖 三戸部スエ 平松淑美 神山寛 横森久 加代キミ子他	10 追憶の泉「母に寄せて」柳沢真一 石浜朗 笠智衆 30 しろうと寄席 牧野周一 トツプ・ライト 柳好	00 お好み歌謡曲 菅原ツヅ子 春日八郎 青木光一他 30 七月のヒツトパレード「セレソ・ローサ」ほか	00 劇「もう夜があける」津村悠子 伊志井寛 小堀誠 30 浪曲「天保水滸伝・十一屋の花会」玉川勝太郎
10	15 新しい道 青山京子ほか 40 納涼お国めぐり❶大山の夏のキャンプ❷庄助物語	00 ❶初級解析 佐藤忠❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇「黒髪さんげ」 30 七月のヒツト・パレード	00 大学受験夏季実力練成講座 英文法 黒田巍 30 国語(現代文)長谷川泉	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 15 マルセル・ビセンチ楽団 35 夏のシヤンソン集
11	10 デンマークの蹴球クジ 20 信濃追分 北川桃雄	05 経営診断から見た実態 20 小児の栄養と免疫	10 二元街録「自衛のために原子兵器は必要か」	00 斬捨て御免「議員の視察旅行」◇木管五重奏	00 スポーツ・カンダー 15 恐怖のかげ(録音構成)

テレビ

★NHK★ ◆6・00 「家なき子」かゝし座 ◆6・30 原子力と平和 伏見康治ほか◆7・10 こんにゃく問答 夢声・金語楼 ◆7・30 映画「少年期」笠智衆、田村秋子 石浜朗ほか◆9・20 ニュースと解説

★NTV★ ◆6・00 世界ニュース◆6・15 漫画映画「カボチャ騒動」「海底珍騒動」◆6・30 ゼスチャア・クイズ 三木鮎郎 宮城典子 ◆7・30 ボクシング実況(下谷公会堂)ダイナミツクグローブズ第二十二回

★KR★ ◆6・00 マリオネット「安寿と厨子王」◆6・20 漫画映画二編◆7・00 映画「森に生きる人々」◆8・00 夏姿浜町音頭(明治座前広場から中継)◆9・15 座談会「原子力と人類革命」村地孝一ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 田中順吉	7・30 原子物理学の性格	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 おしゃべりレディ	7・35 放送論壇 滑川道夫
8・05 イヴ・ナットのピアノ	8・00 療養所の調理と給食	9・45 主婦から見た第22国会	9・30 劇「青春のあるところ」	8・00 劇「サザエさん」
8・30 沢村と景浦鈴木惣太郎	8・30 シューマンの「春」	10・10 名作「津軽の野ずら」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 お早ようブーちゃん
9・15 小学生と宿題 波多野	9・00 きょうのラジオクラブ	11・15 「母のない子」夏川静江	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題 小田善一	10・15 高校生実力養成七週間	12・15 底抜け勘定 一歩・道雄	1・15 落語「道具屋」桂伸治	11・00 連続劇「悦ちゃん」
11・15 人はなんで生きるか	11・30 中学校の社会科	12・30 美ち奴歌謡曲特集	2・00 生活を見つめて	11・35 お昼の歌謡曲

平林・小堀夫妻 "冷戦"に終止符

「覆水盆にかえらず……」作家平林たい子さん(50)と評論家小堀甚二氏(54)との夫婦のもつれはその後円満に落着したかに思えたが心に巣食った暴れる愛情のバチルスは癒えず、三日午前零時二分小堀氏が滞欧生活を終え羽田に着いたのを機会に二十八年間の長かった二人の結婚生活はザ・エンドを告げた。



昨夜羽田に着いた小堀氏と出迎えの平林たい子女史

羽田空港 対面たった数分 よそよそしいご両人 帰宅は別コース

○…異常高温の直射を受けて羽田飛行場の滑走路は夜になっても暑さが照り返している。午前零時を二、三分回っていた。エールフランス機が鈍い爆音を立てゝ滑走路に辷り込んできた。照明燈が昼をあざむくように照らし、むし暑い夜を更にあつ苦しくさせる。この夜、たい子さんは黒い縞の着物に白く刺繍した博多帯という和服姿で「ほんとうならば出迎えなくっても…」と思ったのだろうが納得離婚を眼の前にやっぱり心の片隅に小堀甚二氏への愛情のきずながあったのかも知れない。それでも表面強気なたい子さんはエール機の着陸を前にして「私達の離婚は手紙で既にケリがついているのですー」と冷く記者にいってのける。そしてつーんと澄ました横顔はなんかそっけない出迎え風景にも思えた。

○…昨年二月小堀甚二氏に愛人下村清子さん(四〇)がありその間に隠された愛児民子ちゃん(四つ)のあることを知り、たい子さんは狂ったようにうろたえた話はあまりにも知られている。その後愛人下村清子さんと"手を切る"の条件でもつれた冷い夫婦間の愛情はとけたように見えたが、小堀氏が渡欧を前にして清子さんと箱根で一泊した事実などを知り、たい子さんは私は二度も裏切られたと怒り、小堀氏が欧州へ行ってからも手紙で数回にわたって激しく書きあいついに納得離婚ということになったものである。



下村清子さん

○…その小堀氏を乗せた飛行機はいまついた。パナマ、紺背広姿の小堀氏は空港ロビーで平林さんをみつけると「お前に預けた民子(子供)はどうした」といった [illegible] 人となり大田区仲六郷の料亭妻に休ませてあった民子さんを途中で同乗させ友人の渡辺才一氏宅大田区東六郷一の三六＝へ一。方平林さんは一緒に迎えに出た女新子さん(二四)と練馬区江古田自宅へ一。かくて深夜の飛行場は"愛情の冷戦"の空気だけがただよっているようだった一。

△平林たい子さんの話＝一度ならず二度までも裏切られたので二十八年間の結婚生活を清算することにしました。細いことは小堀と会って相談しますが離婚については手紙で小堀も納得しています。

△小堀甚二氏の話＝だいたい私も離婚するということに決心をして手紙で返事をしてあります。私的なことはあくまで内輪にかたずけたかったが、世間を騒がすようになったことは残念に思っている。子供のこと手続きのことはたい子とよく相談したい。

迷路ガイド　解答 櫻井直吉

問 四十二歳の男性、二度の結婚に失敗し、今また三度目の話が持上っているのですが、甚だお恥かしいことながら肉体上の欠陥があってそのために離婚し今度の話にも気乗り致しません。それは私の性器が異常に肥大で平時でも十八糎ほどもあり友人に打明けたところ不具者の一種だといわれました。今度の結婚に失敗すれば私は一生不幸に過ごさなければならず毎日悩み続けています。縁談にもこのことは仲人に打開けられず苦しんでいます。何卒よいご解答をお願い致します。(横浜市磯子・A生)

悲観どころか誇り　"特大"を氣に病む中年独身男

答 世のなかには性器の短小に悩んでいる人が多く、その人達があなたのことを知ったらさぞ羨むことでしょう。短小の人が劣等感が強いだけで実際上は何ら不都合なところはないのですが、あなたにもやはりこれが当てはまると思います。平常では性器の大小は個人的に差があるのは確かですがこれは誰でも顔がそれぞれ異るのと同様でエレクトした際は大差はないものです。また女性は相手によって不能などということはないほどの伸縮性を持っていることは洋娼などの例を見てもわかるでしょう。十八糎とはどう計ったか知りませんが日本人の平均が十三糎ですから優れた人と、それほどの差はないはずです。前二回の結婚に失敗されたそうですがあなたは余りにもそのことを意識し過ぎ、すべてのことの原因をそこに結び付けたのではないでしょうか。誇りこそすれ、決して悲観するようなものでないことを自信を持って下さい。

少女14人を手ごめ 暴行魔運転手を逮捕

[illegible] ほか、いずれも同様手口でさる二十七年春ごろから本年六月ごろまでの間同町および自宅付近の十才未満の少女ばかり計十四人にいたずらしていた疑い。大村には妻(二七)との間に一男二女があるが妻が病弱な上収入が少なくほかに遊びごとがないための犯行と自供しており、妻が入院中のさる二十七年十一月にも目黒区上目黒の少女B子さん(八)に妊娠させ同署の家事相談所を訪れたこともあった。



【写真は水道橋のKプールにて】

暑さに狂う一家惨劇

横浜 四人の子に毒盛る

[illegible]

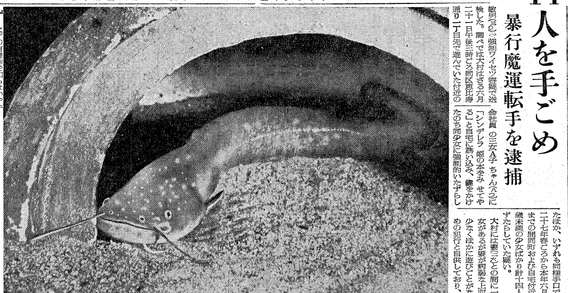
妻子五人を絞殺 島根で 自分は鉄道自殺 線路に六つの死体

[illegible]

偽装心中か女は絶命

[illegible]





ヒゲは伊達じゃない　レーダーよりも鋭敏ですぞ!

ヒゲの有難味を知らないやからはわが輩のヒゲを小馬鹿にしてナマズヒゲだなどといっておる。その癖、地震でもおきようものなら「ほらナマズが怒ってヒゲを動かしたよー」というから笑わしちゃう。わが輩のヒゲが文明の利器、レーダーより感覚が鋭いのをご存知あるまい。どこのヒゲですぐ探知できる。地上で彼氏と彼女が抱擁し暑い上になおアツくのギッチョンチョン?をやっていることは嘘だと思うなら動物園の飼育係りのオジサンとかいう人にわが輩のことをきいてみるがいゝ。

③ナマズ

―(以下井ノ頭動物園飼育係オジサンの話)「ナマズという奴は中々隅っこに置けない利口なやつですよ。温度が急激に上る二、三日前からあのヒゲで予知するらしいんですネ。地下といっても泥の中ですが、そこからノコノコと顔を出し、暑くてやりきれんと水中に現れてくるのです。通常十八度から二十度がベスト・コンディションらしく楽しく遊んでいます。昨今の暑さにこたえるとみえは生意気に日陰をしたって ご覧のような格好ですよー」と語ってくれた。

胸を突き刺し自殺 江戸川で青年

二日夜十一時四十五分ごろ江戸川区平井二の八九六無職樋屋敏夫さん(三五)は自宅でのど胸を切出し小刀で突き刺し自殺をはかり加藤病院に収容されたが重体。小松川署の調べでは厭世から。

仲裁に入って重傷

二日夜十二時ごろ台東区浅草山谷三の一〇先路上で、墨田区寺島一の五三造園業新井三郎さん長男武さん(二八)は、上野の福田組の幹部原田芳広さん(三三)と土地の不良「元玉」こと上村富雄ほか数名が口論をしているので仲裁に入ったところ、逆にいんねんをつけられ袋叩きにあい全身に全治一ヵ月の重傷を負わされた。また原田さんは顔面に同様十日の傷を負い、上村らはそのまゝ逃げたと浅草署に届出た。同署の調べによると福田組と上村らはポン密売の縄張り争いからいざこざが絶えず、また武さんは元関根組の木津政の身内で一時家を留守にした時内妻が上村と情を通じ、その後同棲しているところから上村とは気まずい仲だった。

なお三日午前十一時半ごろ共犯の住所不定無職鈴木武男(四六)は山谷の福田屋旅館に潜伏中を同署員に逮捕された。

安上りの避暑

脳天が押しつぶされるような暑さの連続。お天気相談所ではこゝ一両日は夕立の降りやすい天気というが日中は全く殺人的。そこで昨今のサラーマンやオフィスガールの間に流行っているのが水着持参のご出勤。午後二時から三時になると、事務所のあちこちで「では、きょうはわたしたちの番ね。一時間ばかりゴメンナサイ」てな会話があってさっさとプールへ。かくて都内のプールはどこも超満員という次第。

中野に自動車強盗 二人組片割れ逮捕

三日午前零時半ごろ港区芝海岸通一の一一親和タクシー佐山由雄運転手(三四)は中野区本町通二の二先から国電中野駅までの約束で乗せた二人組に同区桃園町五先暗がりでいきなり手拭いで首をしめられたが騒いだので賊は料金九十円を踏み倒しただけで逃走した。中野署で緊急手配中間もなく現場付近で賊の一人大田区東六郷一の二一ガラス屋店員手塚二郎(二〇)を強盗現行犯で逮捕。逃走した共犯の笈川某を同容疑で指名手配した。

クランクで殴らる

池袋署では三日朝文京区水道橋二の五オリオン相互タクシー運転手中川正夫(三五)を傷害容疑で検挙した。調べによると二日夜十一時半ごろ国電池袋駅通称大踏切りで豊島区千早町四の一九大和タクシー運転手久米敏男さん(三二)の車が中川の車に追突したところから口論となり、中川は久米さんを引きずり出しクランクで頭を殴りつけ全治二週間の裂傷を負わせたもの。

鉄橋から轉落、重傷

三日午前一時十分ごろ足立区千住五の九四先常磐線鉄橋で同鉄橋を工事中の同区日の出町三の六〇〇人夫立田隆志さん(三〇)は誤って鉄橋下の荒川放水路に転落、直ちに救助され梅田病院に収容されたが左足骨折と右足、腰部挫創で全治三ヵ月の重傷。

稚内地方に豪雨

【札幌発】二日夜稚内測候所から札幌管区気象台に入った連絡によると、稚内地方は二日朝来の豪雨で夕方までに平均雨量百一ミリに達し、稚内市郊外の幕別川がはんらん、同地方で約六百二戸が浸水。

浅草夏の夜祭り

浅草観光連盟では五日から十日間浅草観音裏の夜祭りを催す。夜十時まで観音堂の開扉、少年相撲大会、花火、燈籠流しなどがある。

激闘 田口 佐々木 引分け　大上は三迫に善戦



◇…本社後援、次期バンタム級挑戦者決定戦、田口進(国光)対佐々木民雄(野口)八回戦および特別試合三迫仁志(野口)対大上光忠六回戦をメインエベントとするボクシング大会は二日午後七時から田園コロシアム特設リングで行われた。キッド戦に惜敗して以来はじめての三迫の元気な姿、ホープ大上の善戦、田口、佐々木の激闘は浴衣がけ家族づれの観衆を大いに楽しませた。本社杯争奪の田口、佐々木の一戦は激闘八合の末ついに引分け、本社杯は惜しくもあずかりとなった。

◇…三迫―大上 三迫はじめからとびこんで左右のスピードあるボディブローを放てば、大上は三迫の出鼻をよくみてレフトのカウンター右ストレートで応酬、終始互角の打合いをつづけた。三迫はキッド戦からみるとパンチも一段と威力を増したようだが、ホープ大上はその名に相応しく、強豪相手に少しもおくせず左右フックの強打を放ち、この夜の三迫を苦戦に陥れ、今後のリングを楽しませるファイトぶりだった。

◇…田口―佐々木 田口立上りのスパート遅く、佐々木ロングフックをふるってはおびやかし、ふところに入って左右フックのボディブローでラッシュ、前半をリード田口三回からようやくリーチを利かして右フックボディブローを打ち佐々木を弱らせ、レフトフック、アッパーを強打して立直り、以後佐々木のラッシュ戦法にも幻惑されず的確なパンチで毎回ポイントをあげ、佐々木を上回ったかに見えたが、惜しくも引分けとなった。このためバンタム級チャンピオン小室恵市(青木)に対する挑戦者はランキング上位にある田口になるのではないかとみられる。

【写真は第七ラウンド、田口(左)のレフトショートアッパー佐々木のあごにきまる】



【川崎】八月の川崎競輪(市営第五回)は四日を初日に連続四日間行われる。暑さはまさにたけなわ。しかし若い選手たちにとっては猛暑もなんのその、いずれも元気いっぱいだ。

◇A級＝優勝候補は地元の小沢文、強脚山地正、逃げの鳥山巌、レース巧者武内璋、調子取戻した早川康らだが、うち最近いち [illegible] 逃脚さえ、さきの松戸で33 [illegible] いえ、正面から堂々逃切つた [illegible] あなどれず最も恐い存在。また川竹も名うての捌さばき [illegible] 注。このほか渡辺新、石倉一杉卑らがいる。

◇B級＝A下りの田中好 [illegible] このメンバーでは決勝進出十 [illegible] この田中に次ぐのが田村操、栄、深田忠らでとくに田村はよく踏むので有力。

あすのスポーツ △プロ野球 巨人対大洋(三時、前橋)東映対阪急(七時、駒沢) △都市対抗野球 八幡製鉄対電々公社富山、日本石油対京都大丸、東洋高圧大牟田対平電鉄、全鐘紡対名古屋鉄道局(十一時、後楽園) △競馬 船橋(正午)

訂正 二日付「平間明大拳誉ら検挙」の記事中"明大ボクシング部監督平間静夫とあるは"…称…"の誤りで同校とは関係ありませんので訂正致します。



続 情炎の千代田城 (197)

岩崎栄　寺本忠雄画

天下の險（二）

[illegible]

「思いっきりフッ飛ばせいッ」
「合点だッ」
と、駕籠が風を切って、流れるように走りだした。
神奈川ー程ヶ谷ー戸塚と来て、また陽脚は高かった。
「ちょっとおろせよ」
駕籠を停めて、そこの茶店で、一同ずし、一ぱい飲まして、
「さァ、もう一と踏ん張り　頼むぜえ」
「合点でござんす」
棒に肩を入れながら、
「この調子だと、ねえ旦那！　藤沢どころじゃなく、平塚か大磯あたりまでブッ通しますぜ、ようがすか」
「からだは大丈夫か」
「ヘッ、憚りながら、親の代からの駕籠かきでさァ」
「よし、それ、これだ」
「へ？」
「もう一枚、小判だ」
「旦那ァ正気でげすかい。気味がわりいね」
「無礼なことを申さずと、それ」
「へいどうも……そいじゃァ遠慮なく。さァ相棒！　こうなったら、どうでえ、いっそのこと箱根八里を一跨ぎにやっつけるか」
「バカヤロー」



くキリッとして、また三十前見当のいい若ものに見えるのだが、これがまた、お梨花を追ってこの道中に雌雄を決せんとするお静の変装である。
川崎で昼食をし、駕籠に乗って西に急ぐお梨花だった。
「おい、おい駕籠屋！」
男のつくり声が、どうして本ものそっくりだった。ふだん命知らずを叱りとばしている頭目だから

[illegible]

またまた波乱か

吾妻京子らのマニラ行き

吾妻京子、メリー真珠、エミー若原、ジーン谷らのマニラ行き（既報）については、さきにジョイシー水田、ローズ丸山ら一行の送還事件もあったこととて、各方面でその成行きが注目されているが、一部では早くもこの渡航に頭から反対するものも出ている有様で、実際に出発するまでにはなお幾多の波瀾が予想されている。

今回の責任者は、前回渡航組の通訳として同行した二宮寿三氏（オリエント・トラヴェル・サーヴィス勤務）だが、同氏は「先方のビザ（入国許可）は申請中で直ぐにでも下りるが、旅券は二、三日中に外務省に申請を出す予定だ。この前のこともあるので日銀が難色を示しているが、誓約書でも入れて頼めばなんとか旅券は下して貰えると思っている。大たい今月十八日頃には出発して、マニラ市のオペラ・ハウスに二ヵ月出演する話になっている。この前変なことになったのは契約書がマネジャーを通して行われたので、現地へ行ってから食い違ったのだ。今回は直接個人と契約書を交すし、それに選んだ人たちはご承知のように踊りも巧いおとなしい人ばかりだ。だから前のような問題は絶対起らないと思う」と語っている。一方反対している人の一人小田氏は次ぎのように語っている。

これから旅券申請

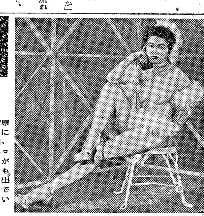
小田、二宮両氏の確執も尾をひく
果して実現するかどうか

「二宮は前回、連帯責任の筈だったが、形勢が悪くなると逃げてしまった。踊り子の美山えみや細くるすにも借金がある筈だ。金も持っておらず、家を追出されたような男の話を信用して行くのでは、女の子たちが可哀そうだ。マニラというところは危険なところで、普通ショウの契約で行っても、向うへ行けば役人やなんかが全ストを見せろとか、ひどい時には市長が纏くるすと寝かせろなんていうところだ。楽屋で余りうるさいので警官を頼めば、その警官が変なことをするようなところだから、女の子がこんど行ったらひどい目にあって帰って来るのが関の山だろう。全ストをやらないといって断ったら、私なんか何度も殴られたほどだ。その上普通ショウの踊りがエロ過ぎるといって踊り子ともども監獄へもぶち込まれた。それに第一こんどのギャラは月に十万とか十二万とかいってるが、マニラは物価が高いから実際は三万から五万円ぐらいにしか当らない。外貨のワクがないから日本にも送金出来ない筈だ。日本の在外事務所もあるが頼りにはならない。だから向うのいうなりになって秘密ショウや何かやれば凄く儲かるようにできている。二宮だってそれで行くに決まっている。とに角なんとかしてこんどの渡航を止めさせなくては女の子たちが可哀そうだ」

また前回の渡航で因縁の深かった益田隆は「どちらかといえば、様子のいい方へつきたがる日和見的な人でした」と二宮氏を評している。

る。

さてこうみると、話は小田・二宮両氏の確執から出ていることは確からしいが、小田氏のいうマニラの事情もまんざら嘘でもないとすれば、やはり今回のマニラ行きは決定までになおなんらかの波乱がありそうだ。現に二宮氏は「旅券が下りるまでは、あまり新聞などに発表して欲しくない」と洩らしているあたり、今回のメンバーが現役のストリッパーであることを関係筋には内密にしておきたい肚なのではないかと噂されている。






上から吾妻京子、メリー真珠、エミー若原、ジーン谷

日活「自分の穴の中で」の出演者決る

日活「自分の穴の中で」（監督内田吐夢）は出演者がつぎの通り決った。三国連太郎、宇野重吉、金子信雄、北原三枝、月丘夢路、利根はる恵、関弘子、滝沢修、北林谷栄、清水将夫、左卜全。

池部の股旅もの「旅路」と決定

東宝では目下製作中の稲垣浩監督、池部良、岡田茉莉子主演の股旅ものの題名を「旅路」と正式決定した。

木馬館で〝暑いロケ〟

『浅草の鬼』撮影すゝむ

○…本紙連載「浅草の鬼」は松林宗恵監督、根上淳、山根寿子、藤田佳子主演で目下大映で撮影中だが、去る日浅草六区で二日間にわたりロケーションを行った。その第一日は根上の梧郎と山根のお新が木馬館のベンチでからみあうシーン。この日一般客はシャット・アウトで撮影は始められたが、外には根上や山根を見ようと見物が入れかわりたちかわり立止まって整理に大童わ。

○…さて館内では松林監督が二人を呼びよせて「いゝね、淳ちゃんはこゝで眼をそらして立上る。山根さんはうらめしそうに見上げるが、その瞳には涙が光っている。いゝね」てな案配。ところが館内はライトとこの暑さとで三十六度を軽く突破。山根寿子などは涙を光らせるどころか背中に汗がひかってしまう始末。さすがの松林監督もワンカット済む毎に表に涼みに出て、山根から「監督さん、本番ですよ」などとやられる珍風景も続出したが、案外撮影はトントンとはこび二十四カットをあげたとは都内ロケには珍らしい早さだった。【写真は木馬館で右より松林監督、根上、山根】



浅草の空の下で

④

浅香光代（奥山劇場）

▽…賑やか、というよりもゴミゴミしている観音様の横手から六区の映画街へ抜ける小路。そこは誰しも幼い頃、参詣のあとに歩いた仄かな想い出があることだろうが、近代色溢れた西参道が映画街の中央目がけて真直ぐ開通したことはまだ知らない人が多かろう。その西参道の一角に約三百坪の奥山庭園がある。赤い毛せんを布いた床几があちこちに置かれ、今は忘れられた奥山情緒の一端がこゝにのこされている。舞台の背中をちょうどこの庭園に向けて建っているのが浅香光代一座の本拠奥山劇場だ。顔をつくったまゝのチョンマゲ衆や、ザンギリ頭の明治の壮士が泉水のほとりや木陰で涼をとっている姿が見られるのもいかにも浅草らしい。



座長の貫録たっぷり

奥山庭園が格好の憩い場

▽…浅香光代の舞台歴は浅草にはじまっている。戦時中浅香新八郎・森静子夫妻の新生国民座が昔の公園劇場にかかっている頃に入座、小森昭子の本名そのままで時代劇「時代の旋風」の芸妓役でデビューした。時に彼女十五歳というんだから、浅草はずいぶん古いわけだ。のちに坂東鶴蔵（現かたばみ座）の亡妻富士竜子を襲名したが半年ぐらいで歌舞伎にイヤ気がさして止め、戦後二十一年四ツ木の平和劇場で浅香光代一座を結成、一座の本座長となった。「十七歳の座長なんだもの。すごく苦労しちゃった」と大きく笑うところも座長の貫録タップリ。

▽…などといっているところへ劇作家北条秀司氏から色紙が届けられた。「斬りまくり斬りまくり暑さ忘れけり。北条秀司」またそよ風が一陣、サッとカツラの毛を揺すぶって通り過ぎた。【写真は奥山庭園にて】

今後は一般外人なみに？

日本側は強硬　在日比島音楽家の取扱



紙恭輔



渡辺弘

マニラに本部をおくフィリピン音楽家連合会が、税金未納などの原因から経済的に破綻をきたし、今春四月ついに解散した事実を確認したニッポン・ミュージッシャンズ・ユニオンでは、在日フィリピン演奏家中の首脳者数名を来る五日銀座中華第一楼に招き、在日フィリピン演奏家たちの取扱い方および契約の更新などについて協議することになった。戦後は急速に在留フィリピン音楽家がナイトクラブその他に増えた結果、不良音楽家の侵入や、日本人音楽家の生活が脅やかされる破目においこまれている。このため日本側音楽家たちの職業組合であるニッポン・ミュージッシャンズ・ユニオン（会長紙恭輔、副会長渡辺弘）とマニラに本部のある全フィリピン音楽家連合会の会長リュテリオ氏との間に数十回の交渉が繰返された結果、日本・フィリピン音楽家協会という友好的な結晶も生れ、在日フィリピン演奏家の数も六十名に限定、その質的向上を図りながら共食いを緩和し、比島演奏者もその収入の何パーセントかをそれぞれの場合に応じてユニオンに納めるという契約が取交されていた。それは一年前の丁度八月十五日のことであるが、その後フィリピン音楽連合会側では会長リュテリオ氏の辞任、四月同連合会の解散について、在日フィリピン音楽家協会（会長ホセ・コントレラス氏）もこれにならってついに七月五日解散してしまった。これに対して日本側は種々対策を練っていたが丁度一年目の契約更新期を機に正式交渉を開始したもので、日本側では「六十名という制限だったが最近では何人に増えたか判断できないし、相手の機関がなくなったのではこれらは一般外人音楽家なみに取扱うことになるかも知れません」と強硬な態度を示し、その成行が注目されている。

歌舞伎トチリばなし

ドブ泥

斬られた吉之丞が本物のドブづけ

臭くてネをあげた「夏祭」奇談

(大) 播磨、中村吉右衛門が在世当時の話である。吉右衛門の団七に、いま劇団のお師匠番として活躍している中村吉之丞の義平次で「夏祭」を持って信州へ旅回りに行った事がある。ご存じの通り団七に斬られた義平次が泥沼にころがりこんで、泥まみれになってはい上ってくる場面がある。この泥沼を、歌舞伎のほうでは「ドブ」といっているところが地方の小屋のこととて、舞台にそんな装置のあろう筈がない。

だが「夏祭」だけは、これがないとどうしても芝居にならないので「ドブをこしらえてくれ」と注文を出した。かしこまりましたと二つ返事で呑みこんだ様子だったので、ホッと一安心した。その時、念を入れて聞けばよかったのだが、相手が別に聞き返しもしなかったし、こちらもいつものつもりで任せておいたのがいけなかった。

さて初日になって「夏祭」の幕が開いた。すると舞台いっぱいにプンプン嫌な臭いがたちこめている。蒸し暑い日だったから、余計その臭いが気になって堪らない。田舎だからかな、と吉之丞は思ったが、それにしてもどうも変だなと吉右衛門のほうをみると、やっぱり顔をしかめて鼻をピク〜させている。気のせいか蚊が何匹も飛び回ってうるさくて仕様がない。風向きの加減にしてもおかしいと考えているうちに、芝居はどんどん進行して行く。

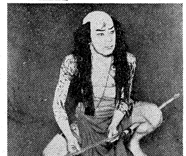
(い) よいよ義平次が団七に斬られて、残念とばかり泥沼へころがりこんだ。その瞬間「どうも調子が変だな」とハッと気がついた時はアトの祭りで、義平次の身体はズボッ、ヌル〜と本当にドブ泥の中へ落ちてしまったのである。ウヘッと思った時には、身体いっぱいにヌル〜で、いやもう臭いの臭くないの。目へも鼻へも、口の中へも遠慮会釈もなく、わけの判らぬ汚物が入りこんできて、気色が悪いことおびただしい。息が詰って窒息しそうになった。

ホウ〜の思いで、這いあがった時の格好たるや、見るに見られぬ無惨な姿だった。東京だったらワーッと来るところだが、田舎のお客は正直だから、誰一人として笑う者もない。みんな息を呑んでシーンと見守っている。…さすがに本物の歌舞伎は大したものだと、感にたえている様子である。

舞台のほうは気が気じゃない。だが、そこは名優吉右衛門と、老練の吉之丞のことだから、あわてず騒がず、他所目には平素と少しも変らぬお定りに義平次は息が絶える。

(殺) されてから暫くの間、舞台の上にころがっている義平次の吉之丞は文字通り死ぬ苦しみ。その間じゅう、ドブ泥の臭いに集ってくる蚊にイヤというほど攻めたてられる。なにしろ殺されているんだから、追うことも、はたくこともできずジーッと固くなっていた。

あとで判ったことだが、勝手を違えた大道具が、近所のドブから本物のドブ泥を四斗樽に三杯も汲んできて、苦心の末にこしらえたものだった。（池谷[illegible]一＝作家）



「夏祭」吉右衛門の団七

年内に六館が開場

映画劇場　新築大はやり

八月から年内にかけて東京都内に映画劇場六館が新築開場する。銀座東映、テアトル東京、同銀座、渋谷宝塚、池袋劇場及び五反田大映がそれで、このうち銀座東映は八月三週開場する。テアトル東京及びテアトル銀座は旧テアトル銀座を取こわした跡に新築中の大ビルディング内に開場するもので、竣工は十一月となっている。池袋劇場は定員一千名、十一月一日開場。また渋谷宝塚は渋谷東宝の上に新築予定のもので定員八百名、十二月中旬、五反田大映は十二月二十五日開場する。

おしゃべり横丁



水難つゞき
おかげでこちらは流行っています。
ーガマン会

清水谷洋子



新人山脈

原節子が好きで好きでたまらなかった、彼女に一度でも会えたら本望だと思っていた。といってこの女優さん、一般の俳優志望娘とはそのキッカケがだいぶ変っているというのは彼女のお父さんは大阪の千土地興行のお偉ら方で、こういう空気には至って近い環境に育ったものだ。そこで彼女は昨年の三月学校を卒業するやいなや、東京に一人で飛び出してきて東京映画に入社した。いかにも「船場のイトはん」らしい積極さである。そして石浜朗、久我美子の主演した「風立ちぬ」の看護婦、以来近く封切られる「赤いカンナの花咲けば」まで六本に出演して数少い東京映画の新人スターのトップに躍り上ってしまった。親の七光りがあったにしろ、とにかくいゝたいことをズバズバいうあたり大変可愛らしい。本名福井睦子、昭和九年三月三十一日生。現住所＝品川区上大崎二丁目、目黒会館内。

映画やぶにらみ

飯田と伊藤が好演

（三）（つ）（の）（顔）＝日活

▽…かつて生死を共にした三人の戦友が五年後の再会を約して別れる。さて、その約束の日が巡って来るのだが、話はその前日から始められる…。第一の男（伊藤雄之助）はニコヨンになっている。彼は再会の日を心待ちにして絶食までして乏しい小遣いを貯めているのだが、その話を聞いた仲間が恥をかゝせまいと金を集めてくれたりする。そういった小心で底抜けにお人好しな男を伊藤雄之助が好演する。そしてドケチと呼ばれている老婆（飯田蝶子）と彼とのホノボノとした交情は、この作品の中で一番心よい感動をさそう。



【写真はその一場面、中央が伊藤雄之助】

▽…第二の男（水島道太郎）はボクサー。病妻（新珠三千代）をかかえ八百長試合をボス（阿部徹）に強要されている。第三の男（三国連太郎・凝りすぎ）は斜陽華族彼は姉（広岡三栄子）のために銀行ギャングを働いてしまう。このような三つの挿話を併行しながら話は進行するのだが、井上梅次監督はなか〜鮮やかな手際でこれをさばいてあかせない。

▽…とどのつまり、ニコヨンの戦友と病妻の応援で拳闘家は試合に勝つのだが、怒ったボスの魔手もニコヨンの善意によってのがれられる。戦友愛という名のもとに男の友情の尊さを謳いあげるわけだが、甘いといえば確かに甘いこの話が素直にしみ込んで来るのも、何事にもセチ辛い近ごろの世相のせいでもあろうか。試合を終って連れだって帰る彼等と、逮捕されたギャングの車がすれ違うのがラスト。若手監督の如何にも撮りたそうなシーンではある。飯田蝶子が実に良い。（静）

録音テープの不正使用横行

ラジオや実演からテープに録音し、それをキャバレーや高級喫茶店に売りつけ、また民間放送で使用した録音テープを宣伝カーやデパートなどで客よせに使用しているのは音楽著作権の侵害であるとして日本音楽著作権協会では究明に乗り出すことになった。

はと笛



▽…襲名公演の一ヵ月間、禁酒の公約？　果した片岡我童を激励しようと、先夜銀座のビヤホールに「偶然会」の面々が集まった。この奇妙な名の会は戦前故羽左衛門と我童、芝鶴、田之助、秀調、源之助が偶然に作って以来レンメンと続いているもの。

▽…当夜は高助も一枚加わって、精進落しだとばかり我童を囲み、こん夜は僕たちがついてるから安心して飲めよと、すっかり大トラにさせちゃった。近ごろの友情？　美談。【写真は片岡我童】

都々逸

小沢爾太郎選

醒めきらぬ夏の短かい夢そのままに
青くゆれてる朝の蚊帳　長岡・鈴木六司仙

逢えばそのまま喧嘩になって
逢わねば戀しい人の顔　文京・木村いつ秋

力まかせに打てない襟頸
貴方の血を吸う蚊の憎さ　浦和・尾沮 通夫

見たさ逢いたさ日に幾たびか
思い出してはまた涙　大田・嵯峨野唄丸

鳴りをひそめて風鈴までが
じっとしている待ち呆け　神楽坂・藤村家喜代栄

◇

ビーチパラソル斜めに立てて
砂に転がる膝まくら　選者

どっと出る外画主題歌のレコード

八月から十月にかけて公開される外国映画の主題歌が、つぎの如く発売される。

△コロムビア＝メトロの「プロデガル」フオックスの「足長おじさん」

△ビクター＝大映配給の「ファンタジア」の全曲と、映配配給の「水色の夜会服」主題歌の「山里のお嬢さん」「ポルトガルの洗濯娘」ワーナーの「ピラミッド」東和の「フレンチカンカン」ユナイトの「見知らぬ人ではなく」「旅情」松竹配給の「ケンタッキー人」

△テイチク＝メトロの「暴力教室」ワーナーの「エデンの東」

三つの部屋・三つの気分

八丁堀に珍らしい『らもん』

中央区八丁堀すずらん通りに「らもん」という喫茶店がある。場所が少し外れているので損をしているがいつも八分の入り。広いスペースだから目立たないが一人一人数えたら相当な数になるに違いない。若しこの店をこのまゝ新宿や銀座に移せば、恐らく附近の喫茶店を総なめにすること請合いといった立派なものだ。

先ず変っているのは室内の変化のつけ方にある。ビジネス向きの明るいテレビのある部屋と、二人が静かに語るにいい中地下室、グリーンを主体とした渋い調度の二階のテラスなど三つの部屋に三つの雰囲気を巧みに配してある趣向がいい。商社の応接間としても、二人づれの憩いの間としても申し分ない喫茶店といえよう。

世界の話題浚う

新橋北口「暫」

〝日本女性の肌の色〟はがぜん外国の男性間にモテハヤされ始めている。これは1955年以後の世界的傾向だろうといわれているのだが、或るアメリカ人にいわせると、加えてヒップとミルクタンクが立派になれば申し分なし。それこそ世界一の美人は日本女性の中から選ばれるだろうとか。

そういうことになれば、何といっても心強いのは新橋駅北口、都電通りの田村町と中間右側の甘糟ビルの地下にある酒亭「暫」の女性群だろう。ミスユニバース第五位、高橋敬緯子嬢級のヒップ女性がズラリ四十人。しかも〝ユカタ娘ワンダフル〟のその浴衣をみんなが着ているお色気の群像だ。

目下ゆかた祭りの開催中で、素敵な趣向がいろいろ飛び出して客を楽しませている。外人にもウケる純日本酒亭として人気の的だ。

踊れる純喫茶とは？

両国駅前の「東宝」

サービス喫茶は踊れない。マンボ喫茶はキャバレー並みのお値段となれば、ちょっと彼氏と彼女が一杯か二杯のお茶の値段で踊れる店は数少ない。場所は都心からちょっと離れるが、国電両国駅前、都電で行っても国電で行っても有楽町、東京駅から四、五分の地点に、純情な彼と彼女が何の気兼ねなしにゆっくり踊れる素敵な喫茶店が現われた。



本来は喫茶店というより、ダンスホールというべきか。百二十円の入場料に喫茶券がついている。いうなれば〝百二十円で踊れる純喫茶〟ともいう店だ。ホールは広くザッと百坪。円型を描いて憩いのボックスがその周囲に配置され、美しいダンサーも幾人か用意されている。二人づれで行ってネバるのが本筋だが、場合によっては独りで行って、気の向く女性を選んでパートナーになって貰うという手もある。連日演奏しているバンドも一流。珈琲のほかにビール百五十円、ハイボール五〇円など飲み物も安い。目下アルバイト・ダンサー募集中。

